

GCOM-C/SGLI海洋標準プロダクトの紹介

About GCOM-C/SGLI Ocean Standard Products

*緒方 一紀¹

*Kazunori Ogata¹

1. 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

1. Japan Aerospace Exploration Agency

地球観測変動観測ミッションにおいて気候変動を観測する衛星 (Global Change Observation Mission-Climate: GCOM-C) 「しきさい」 が2017年12月23日にJAXAにより打ち上げられた。しきさいには多波長光学放射計 (Second Generation Global Imager : SGLI) が搭載されており、近紫外から熱赤外 (波長: 380nm ~ 12um) を19チャンネルで観測する。

SGLIの海洋標準プロダクトは7つのパラメータと2つの処理レベルから成る。パラメータは波長380、412、443、490、530、565と673.5nmの海水射出放射輝度 (NWLR) [$W/m^2/sr/um$]、波長673.5と868.5nmのエアロゾル光学的厚さ (TAUA) [-], 光合成有効放射量 (PAR) [$Ein/m^2/day$]、懸濁物質濃度 (TSM) [g/m^3]、波長412nmの有色溶存有機物吸光係数 (CDOM) [m^{-1}] から成る。処理レベルは空間解像度と時間解像度によってLevel-2とLevel-3に分けられる。

打ち上げから約1年を経て、全ての海洋標準プロダクトがリリース基準の精度を達成し、JAXA G-Portalから2018年12月20日より提供が開始された。

キーワード : GCOM-C, SGLI, 海色, 海面水温, リモートセンシング

Keywords: GCOM-C, SGLI, Ocean color, SST, Remote sensing